



## 2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社ヴィツツ

上場取引所 東

コード番号 4440 U R L <https://www.witz-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 尾関 和磨 T E L 052-957-3331

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年8月期第1四半期	百万円 1,416	% 34.6	百万円 231	% 103.4	百万円 236	% 90.6	百万円 165	% 92.6
2025年8月期第1四半期	1,052	50.3	113	157.1	124	138.5	86	168.3

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 164百万円 (102.6%) 2025年8月期第1四半期 81百万円 (139.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年8月期第1四半期	円 銭 41.61	円 銭 —
2025年8月期第1四半期	21.65	21.64

(注) 2026年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年8月期第1四半期	百万円 4,257	百万円 2,942	% 68.9
2025年8月期	4,072	2,837	69.4

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 2,931百万円 2025年8月期 2,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	0.00	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 5,600	% 15.3	百万円 580	% 2.4	百万円 596	% 1.3	百万円 435	% 2.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期 1Q	4,176,000株	2025年8月期	4,176,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期 1Q	187,979株	2025年8月期	187,979株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期 1Q	3,988,021株	2025年8月期 1Q	3,978,977株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、米国の通商政策や物価上昇の継続が、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループのソフトウェア事業を取り巻く環境においては、引き続き開発依頼は高い需要を維持しております。主力であります組込みソフトウェアの技術分野で自動車及び産業機器向けの売上が堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの技術分野で自動車向けの売上が好調に推移しました。さらに、センシング事業において、X線透過装置における大型案件の納品が完了した影響もあり、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、人件費の引き上げや外注費の増加に加え、事業の拡大・推進・強化等を目的とした人員の増強等により売上原価及び販管費が増加したものの、売上高の増収、受注額の見直しや高利益率案件の増加等による売上総利益率の上昇が牽引し、販管費増を上回る売上総利益の増加となった結果、前年同期比増益となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益においては、保険解約返戻金及びGo-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）に係る補助金収入が減少したものの、営業利益が増加した結果、前年同期比増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,416,819千円（前年同期比34.6%増）、営業利益231,040千円（同103.4%増）、経常利益236,689千円（同90.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益165,937千円（同92.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間と前年同期の一方若しくは両方がマイナスの金額である場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期額を記載しております。また、「その他」については、前第4四半期連結会計期間に新たに連結子会社とした株式会社リザーブマート（以下、RM社という。）のみが含まれているため、前年同期比増減率及び前年同期額は記載しておりません。

### 1. ソフトウェア事業

当セグメントにおいては、自動車や産業機器向けの制御ソフトウェアの受託・エンジニアの派遣等を軸とし、これらのソフトウェア開発におけるセキュリティやセーフティコンサルティング、AI（人工知能）を自律化システム等に安全に搭載するためのAIセーフティコンサルティング、ロボットや自動走行車開発等におけるシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、これらの技術に関するノウハウを商材化した製品及びサービスの提供などを行っております。なお、当社、テスコ株式会社及びRM社以外の連結子会社は、当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります組込みソフトウェアの技術分野で自動車及び産業機器向けの売上がり堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの技術分野で自動車向けの売上がり好調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は1,217,723千円（前年同期比27.6%増）、セグメント利益（営業利益）は219,400千円（同84.1%増）となりました。

### 2. センシング事業

当セグメントにおいては、X線透過・CT装置の製造・販売・保守などを行っており、事業の特性上9月及び3月付近に売上が集中し利益貢献する傾向にあります。なお、連結子会社であるテスコ株式会社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、X線透過・CT装置など大型案件の需要が高い状況にあり、当第1四半期連結累計期間においてX線透過装置における大型案件の納品が完了した結果、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は186,077千円（前年同期比89.6%増）、セグメント利益（営業利益）は752千円（前年同期は13,053千円のセグメント損失）となりました。

### 3. その他

当セグメントにおいては、RM社が含まれております。RM社は自治体や公共施設、音楽スタジオに向けてクラウド型施設予約システムの開発、保守サービスを提供しております。

経営成績の状況といたしましては、自治体等に提供している施設予約システムの開発収益、利用料収益等により売上高は堅調に推移したため、セグメント利益となりました。

この結果、売上高は13,518千円、セグメント利益（営業利益）は3,072千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流动資産は、3,072,115千円（前期末比9.2%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,943,338千円（同9.6%減）、受取手形、売掛金及び契約資産447,096千円（同41.6%増）、有価証券399,905千円（前期末該当なし）、仕掛品176,061千円（前期末比14.0%減）、原材料及び貯蔵品4,038千円（同12.1%増）であります。

固定資産は、1,185,074千円（同5.9%減）となりました。主な内訳は、のれん257,771千円（同3.1%減）、投資有価証券197,400千円（同33.7%減）、保険積立金114,251千円（同5.7%減）、有形固定資産87,711千円（同1.7%減）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,257,190千円（同4.5%増）となりました。

#### (負債)

流动負債は、991,697千円（前期末比9.0%増）となりました。主な内訳は、賞与引当金147,541千円（同45.9%減）、買掛金109,936千円（同62.6%増）、未払法人税等82,909千円（同32.2%減）であります。

固定負債は、322,803千円（同0.6%減）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債228,321千円（同0.5%増）、長期未払金91,657千円（同3.6%減）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,314,501千円（同6.5%増）となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,942,688千円（前期末比3.7%増）となりました。主な内訳は、資本金612,524千円（前期末同額）、資本剰余金557,888千円（前期末同額）、利益剰余金1,925,969千円（前期末比5.8%増）であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2, 149, 108	1, 943, 338
受取手形、売掛金及び契約資産	315, 724	447, 096
有価証券	—	399, 905
商品及び製品	65, 589	0
仕掛品	204, 784	176, 061
原材料及び貯蔵品	3, 603	4, 038
その他	74, 326	101, 675
流動資産合計	2, 813, 136	3, 072, 115
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	89, 237	87, 711
無形固定資産		
のれん	265, 977	257, 771
その他	121, 454	123, 549
無形固定資産合計	387, 432	381, 320
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	297, 588	197, 400
保険積立金	121, 118	114, 251
その他	363, 595	404, 390
<b>投資その他の資産合計</b>	782, 302	716, 042
<b>固定資産合計</b>	1, 258, 972	1, 185, 074
<b>資産合計</b>	4, 072, 109	4, 257, 190
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	67, 617	109, 936
未払法人税等	122, 217	82, 909
賞与引当金	272, 570	147, 541
製品保証引当金	3, 234	2, 323
受注損失引当金	564	765
その他	443, 525	648, 220
<b>流動負債合計</b>	909, 729	991, 697
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	227, 143	228, 321
役員退職慰労引当金	2, 401	2, 825
長期未払金	95, 091	91, 657
<b>固定負債合計</b>	324, 635	322, 803
<b>負債合計</b>	1, 234, 365	1, 314, 501
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	612, 524	612, 524
資本剰余金	557, 888	557, 888
利益剰余金	1, 819, 852	1, 925, 969
自己株式	△162, 958	△162, 958
<b>株主資本合計</b>	2, 827, 307	2, 933, 424
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△1, 936	△1, 804
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	△1, 936	△1, 804
<b>非支配株主持分</b>	12, 373	11, 068
<b>純資産合計</b>	2, 837, 744	2, 942, 688
<b>負債純資産合計</b>	4, 072, 109	4, 257, 190

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,052,558	1,416,819
売上原価	657,981	869,302
売上総利益	394,577	547,517
販売費及び一般管理費	280,997	316,476
営業利益	113,579	231,040
営業外収益		
補助金収入	4,359	2,189
助成金収入	35	1,200
保険解約返戻金	4,985	1,995
保険事務手数料	38	34
受取手数料	903	13
その他	954	1,201
営業外収益合計	11,275	6,633
営業外費用		
自己株式取得費用	261	—
為替差損	401	453
保険解約損	—	527
その他	0	3
営業外費用合計	662	984
経常利益	124,192	236,689
特別損失		
固定資産廃棄損	298	171
特別損失合計	298	171
税金等調整前四半期純利益	123,893	236,518
法人税等	41,372	71,885
四半期純利益	82,521	164,632
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,617	△1,304
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,139	165,937

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	82,521	164,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,193	131
その他の包括利益合計	△1,193	131
四半期包括利益	81,327	164,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,945	166,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,617	△1,304

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	ソフトウェア事業	センシング事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	954,425	98,133	1,052,558	1,052,558	—	1,052,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	954,425	98,133	1,052,558	1,052,558	—	1,052,558
セグメント利益又は損失(△)	119,177	△13,053	106,123	106,123	7,456	113,579

(注) セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年9月1日 至 2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額
	ソフトウェア事業	センシング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,217,223	186,077	1,403,301	13,518	1,416,819	—	1,416,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	499	—	499	—	499	△499	—
計	1,217,723	186,077	1,403,800	13,518	1,417,319	△499	1,416,819
セグメント利益	219,400	752	220,153	3,072	223,226	7,813	231,040

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、RM社におけるインターネット予約システムの運用と管理事業等であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	12,643千円	15,357千円
のれん償却額	6,504	8,206
顧客関連資産償却額	—	971